

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 083	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 三浦半島に合い観光資源となる景観植物の選定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦半島においては、土壌流失や土ボコリの問題から夏季の空き畑が問題となっている。 これに対応するため、緑肥作物の導入やマリーゴールドの導入を図っている。 しかしながら、夏場の空き畑に植える緑肥作物等を観光資源にも活用できるような景観作物等の選定をお願いしたい。 夏季の観光シーズンに観光の目玉となりえる景観作物を選定してもらいたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 景観作物としての利用が考えられる作物としてはヒマワリ等があり、現在も緑肥作物との兼用で栽培されているケースもあります。しかし、ヒマワリの場合、景観作物としての利用期間が長くなると緑肥としてのすき込み作業が困難になること、有害センチュウの抑止効果が期待できないことなどが問題となっています。また、有害センチュウ抑止効果のあるマリーゴールドでも害虫の寄生度や栽培管理のしやすさが品種によって異なり、景観と緑肥用途のどちらを重視するかによって品種を選ぶ必要があります。 これらのことから、景観作物を栽培する畑の利用形態や投下可能な労働力や労働時間等に合わせ、既存の景観作物の中から選択するのが現実的です。 なお、景観作物としての利用が可能な緑肥作物については、随時情報提供します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			